様式１０

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書

令和５年４月２１日

都道府県知事　殿

病院名　国保水俣市立総合医療センター
開設者　水俣市長　髙岡　利治

医師法第１６条の２第１項に規定する臨床研修に関する省令（平成１４年厚生労働省令第１５８号）第１２条に基づき、年次報告書を提出いたします。

また、併せて、同省令第９条に基づき、①．研修プログラムの変更、２．研修プログラムの新設を届け出ます。（研修プログラムを変更する場合には「１．研修プログラム変更」に、研修プログラムを新設する場合には「２．研修プログラムの新設」に〇をつけてください。）

①．基幹型臨床研修病院　２．協力型臨床研修病院　（報告又は届出を行う臨床研修病院の型の番号に〇をつけてください。）

・項目番号１から２７までについては、年次報告において記入してください。
・研修プログラムの変更・新設の届出の場合は、項目番号２８から３９までについても記入してください。

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－１－

病院施設番号：031248　　臨床研修病院の名称：国保水俣市立総合医療センター

記入日：西暦２０２３年４月２１日

病院施設番号 （基幹型、協力型記入） 既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。	031248	臨床研修病院群の名称 （基幹型、協力型記入） 既に臨床研修病院群番号を有している臨床研修病院群については、番号も記入してください。	名称　国保水俣市立総合医療センター群卒後臨床研修プログラム 番号

作成責任者の氏名及び連絡先 （基幹型、協力型記入） 本報告書の問合せに対して回答できる作成責任者について記入してください。	ﾌﾘｶﾞﾅ　ナカハラ　　カナ 氏名（姓） 中原	（名） 華那	役職　総務課経営・情報企画室　主事 （内線　585） （直通電話（0966）63―2101） e-mail：minamata-sic01@ar.wakwak.com （携帯電話のメールアドレスは不可とします。）

１．病院の名称 （基幹型、協力型記入）	ﾌﾘｶﾞﾅ　コクホミナマタシリツソウゴウイリョウセンター 国保水俣市立総合医療センター
２．病院の所在地及び二次医療圏の名称 （基幹型・協力型記入）	〒 8 6 7-0 0 4 1　（ 熊本　都・道・府・(県) 水俣市天神町１－２－１ 電話：(0966) 63―2101　ＦＡＸ：(0966) 63―1393 二次医療圏 の名称：芦北
３．病院の開設者の氏名（法人の名称） （基幹型・協力型記入）	ﾌﾘｶﾞﾅ　ミナマタシチョウ　タカオカ　トシハル 水俣市長　髙岡　利治
４．病院の開設者の住所（法人の主たる事務所の所在地） （基幹型・協力型記入）	〒 8 6 7-0 0 1 1　（ 熊本　都・道・府・(県) 水俣市陣内１－１－１ 電話：(0966) 63―2101　ＦＡＸ：(0966) 63―1393
５．病院の管理者の氏名 （基幹型・協力型記入）	ﾌﾘｶﾞﾅ　アベ　　ミチオ 姓：阿部　　名：道雄
６.研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数 （基幹型記入）	＊　別紙１に記入 研修管理委員会のすべての構成員（協力型臨床研修病院及び臨床研修協力施設に所属する者を含む。）について記入してください。
７．病院群の構成等 （基幹型記入）	＊　別表に記入 病院群を構成するすべての臨床研修病院、臨床研修協力施設の名称、新規指定の有無、病院群の構成の変更等について記入してください。
８.病院のホームページアドレス （基幹型・協力型記入）	http:// www.minamata-hp.jp

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－２－

病院施設番号：031248　　臨床研修病院の名称：国保水俣市立総合医療センター

		※	
９．医師（研修医を含む。）の員数 （基幹型・協力型記入）			常勤：　49　名、非常勤（常勤換算）：　1.8　名 計（常勤換算）：　50.8　　名、医療法による医師の標準員数：　28　名 ＊　研修医の氏名等について様式３に記入
１０．救急医療の提供の実績 （基幹型・協力型記入）	救急病院認定の告示		告示年月日：西暦 2023 年　2 月　12 日、告示番号：第　105　号
	医療計画上の位置付け		１．初期救急医療機関　(２.) 第二次救急医療機関　３．第三次救急医療機関
	救急専用診療（処置）室の有無		(１.) 有　（109.950）ｍ^2　　０．無
	救急医療の実績		前年度の件数：9,515 件（うち診療時間外：6,496 件） １日平均件数：26.0 件（うち診療時間外：17.8 件） 救急車取扱件数：1,639 件（うち診療時間外：979 件）
	診療時間外の勤務体制		医師：　1　名、看護師及び准看護師：　2　名
	指導を行う者の氏名等		＊　別紙４に記入
	救急医療を提供している診療科		内科系（(１.) 有　０．無）　外科系（(１.) 有　０．無）　小児科（(１.) 有　０．無） その他（　　）
１１．医療法上の許可病床数（歯科の病床数を除く。） （基幹型・協力型記入）			1.一般：357 床、2.精神：　　床、3.感染症：4 床 4.結核：　　床、5.療養：　　床
１２．診療科ごとの入院患者・外来患者・研修医の数 （基幹型・協力型記入）			＊　別紙２に記入
１３．病床の種別ごとの平均在院日数（小数第二位四捨五入） （基幹型・協力型記入）			1.一般：16.4 日、2.精神：　.　日、3.感染症：5.1 日 4.結核：　.　日、5.療養：　.　日
１４．前年度の分娩件数 （基幹型・協力型記入）			正常分娩件数：　41 件、異常分娩件数：　14 件
１５．臨床病理検討会（ＣＰＣ）の実施状況 （基幹型・協力型記入）	開催回数		前年度実績：　1　回、今年度見込：　1　回　※報告・届出病院の主催の下に開催した回数を記載
	指導を行う病理医の氏名等		＊　別紙４に記入
	剖検数		前年度実績：　1　件、今年度見込：　1　件
	剖検を行う場所		当該医療機関の剖検室　(１.) 有 ０．無　（　　）大学、（　　）病院 無を選択した場合には、剖検を実施している大学又は病院を記入してください。
１６．研修医のための宿舎及び研修医室の有無 （基幹型・協力型記入）	研修医の宿舎		(１.) 有（単身用：　3　戸、世帯用：　　戸） ０．無（住宅手当：　　円） 有を選択した場合には、単身用・世帯用に分けて宿舎の戸数を記入してください。 無を選択した場合には、住宅手当の金額を記入してください。住宅手当の支給が無い場合は、「０」と記入してください。
	研修医室		(１) 有（　１　室）　０．無 有を選択した場合には、研修医室の室数を記入してください。
１７．図書、雑誌、インターネット等が利用できる環境及び医学教育用機材の整備状況 （基幹型・協力型記入）	図書室の広さ		（　96.000　）ｍ^2
	医学図書数		国内図書：　619 冊、国外図書：　89 冊
	医学雑誌数		国内雑誌：　26 種類、国外雑誌：　16 種類
	図書室の利用可能時間		0：00　～　24：00　　24 時間表記
	文献データベース等の利用環境		Medline 等の文献データベース（(１.) 有　０．無）、教育用コンテンツ（１．有 (０.) 無）、 その他（　　）
			利用可能時間（　0：00　～　24：00　）24 時間表記
	医学教育用機材の整備状況		医学教育用シミュレーター（１．有 (０.) 無）、 その他（　　）

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－３－

病院施設番号：032148　　臨床研修病院の名称：国保水俣市立総合医療センター

１８．病歴管理体制 （基幹型・協力型記入）	病歴管理の責任者の氏名及び役職		ﾌﾘｶﾞﾅ　クスノキ　　シンイチロウ 氏名（姓）楠　（名）真一郎 役職　副院長兼事務部長兼医事課長
	診療に関する諸記録の管理方法		(1.) 中央管理　２．各科管理 その他（具体的に：　　）
	診療録の保存期間		（　10　）年間保存
	診療録の保存方法		１．文書　２．電子媒体 その他（具体的に：文書、電子媒体　）
１９．医療安全管理体制 （基幹型・協力型記入）	安全管理者の配置状況		(1.) 有（　１　名）　０．無 有を選択した場合には、安全管理者の人数を記入してください。
	安全管理部門の設置状況		職員：専任（　１　）名、兼任（　28　）名 主な活動内容：例）「院内において発生した医療事故又は発生する危険があった医療事故についての情報の収集」「医療事故の防止のための研修及び教育」等 医療事故を防止するための情報収集、分析対策、分析対策立案、フィードバック
	患者からの相談に適切に応じる体制の確保状況		患者相談窓口の責任者の氏名等： ﾌﾘｶﾞﾅミゾウエ　　マモル 氏名（姓）溝上　（名）守 役職　地域医療支援センター長 対応時間（　8：15　～　17：00　）24 時間表記 患者相談窓口に係る規約の有無：　(1.) 有　０．無
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況		(1.) 有　０．無 指針の主な内容： 組織及び体制・医療安全管理者の権限と業務・安全管理体制について・委員会の開催及び業務・安全に関する教育・事故発生状況
	医療に係る安全管理委員会の開催状況		年（　57　）回 活動の主な内容： 安全対策委員会（週１回）及びリスクマネージャー会議（月１回）を開催し、事故の発生原因・再発防止策の検討及び職員への周知を行っている。
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況		年（　8　）回 研修の主な内容： 医療安全に係る専門家院内講師による講習会等
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策		医療機関内における事故報告等の整備：　(1.) 有　０．無 その他の改善のための方策の主な内容： 医療事故を防止するための情報収集・分析・対策の検討及び職員への周知・医療安全に関する教育
２０．前年度に臨床研修を修了又は中断した研修医の数 （基幹型・協力型記入）			修了：　0　名 中断：　0　名
２１．現に受け入れている研修医の数 （基幹型・協力型記入）			

	前々年度	前年度	当該年度
１　年	0 人	3 人	1 人
２　年	1 人	0 人	3 人

２２．受入可能定員 （基幹型・協力型記入）	許可病床数（歯科の病床数を除く。）から算出		許可病床数（　361　）床÷１０＝（　36　）名
	患者数から算出		年間入院患者数（　4,235　）人÷１００＝（　42　）名
２３．当該病院からの医師派遣実績 ※募集定員を変更する場合は、別紙５も提出すること。			○　派遣実績　　募集定員加算 名　→　名 ※　募集定員加算の人数は、報告・届出年度の翌年度の募集定員を算出する際に用いる医師派遣等の加算人数を記入すること。（記入要領 25 を参照） ○地域医療対策協議会等の意向の把握（　有　・　無　） ※　該当する方を○で囲むこと。

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－４－

病院施設番号：031248　　臨床研修病院の名称：国保水俣市立総合医療センター

項目 27 までについては,報告時に必ず記入してください。		※	
２４.精神保健福祉士、作業療法士その他診療要員の配置状況 （基幹型・協力型記入） 精神科の研修を行う臨床研修病院については記入してください。			1.精神保健福祉士：　１名（常勤：　１名、非常勤：　名） 2.作業療法士：　8 名（常勤：　8 名、非常勤：　名） 3.臨床心理技術者：　名（常勤：　名、非常勤：　名） 9.その他の精神科技術職員： ＿＿＿名（常勤：　名、非常勤：　名）
２５．第三者評価の受審状況 （基幹型記入）			１．有　（評価実施機関名：　（　年　月　日）） (０.) 無 有を選択した場合には、評価実施機関名及び直近の受審日を記入してください。
２６．前年度に育児休業を取得した研修医の数 （基幹型・協力型記入）			女性　１年次研修医（　０　）名　２年次研修医（　０　）名 男性　１年次研修医（　０　）名　２年次研修医（　０　）名
２７．研修医の妊娠・出産・育児に関する施設及び取組に関する事項 （基幹型・協力型記入）	院内保育所		院内保育所の有無　(1.) 有　０．無） 有を選択した場合、開所時間を記入してください　（　7 時　30 分　～　18 時　00 分）
			病児保育　(1.) 有　０．無） 夜間保育　（１．有　(０.) 無）
			上記保育所は研修医の子どもに使用可能か　(1.) 可　０．不可）
	保育補助		ベビーシッター・一時保育等利用時の補助　(1.) 有　０．無）
			その他の補助（具体的に：休日に一時保育の利用が可能　）
	体調不良時に休憩・授乳等に使用できる場所		休憩場所　(1.) 有　０．無） 授乳スペース　(1.) 有　０．無）
	その他育児関連施設・取組があれば記入（院外との連携した取組もあれば記入）		（　）
	研修医のライフイベントの相談窓口		(1.) 有　０．無 窓口の名称がある場合記入（　総務係　） 窓口の専任担当 (1.) 有（　5　名）　０．無
	各種ハラスメントの相談窓口		窓口の名称を記入（　ハラスメント相談窓口　） 窓口の専任担当 (1.) 有（　5　名）　０．無

※ここからは研修プログラムごとに記入してください。研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。

２８．研修プログラムの名称 （基幹型・協力型記入） プログラム番号は、既にプログラム番号を取得されている場合に記入してください。		研修プログラムの名称：研修プログラムの名称：国保水俣市立総合医療センター群卒後臨床研修プログラム プログラム番号：＿032148104＿
２９．研修医の募集定員 （基幹型記入）		１年次：　3　名、２年次：　3　名

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－５－

病院施設番号：031248　　臨床研修病院の名称：国保水俣市立総合医療センター

※研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。

３０.研修医の募集及び採用の方法 （基幹型記入）	研修プログラムに関する問い合わせ先		ﾌﾘｶﾞﾅ　ナカハラ　　カナ 氏名（姓）　中原　（名）華那 所属　総務課経営・情報企画室　役職　主事 電話：(0966) 63―2101　ＦＡＸ：(0966) 63―1393 e-mail：minamata-sic01@ar.wakwak.com URL：http:// minamata-hp.jp
	資料請求先		住所 〒 8 6 7 ― 0 0 4 1　（ 熊本　都・道・府・(県) 水俣市天神町１－２－１ 担当部門　担当者氏名　ﾌﾘｶﾞﾅ　ナカハラ　カナ 姓　中原　名　華那 電話：(0966) 63―2101　ＦＡＸ：(0966) 63―1393 e-mail：minamata-sic01@ar.wakwak.com URL：http:// minamata-hp.jp
	募集方法		(1.) 公募 ２．その他（具体的に：　）
	応募必要書類 （複数選択可）		(1.) 履歴書、(2.) 卒業(見込み)証明書、(3.) 成績証明書、 ４．健康診断書、５．その他(具体的に：　)
	選考方法 （複数選択可）		(1.) 面接 ２．筆記試験 その他（具体的に：　）
	募集及び選考の時期		募集時期：　７月　１日頃から 選考時期：　８月　１日頃から
	マッチング利用の有無		(1.) 有　０．無
３１．研修プログラムの名称及び概要 （基幹型記入）			概要：＊　別紙３に記入 （作成年月日：西暦　2016 年　６月　１日）
３２．プログラム責任者の氏名等（副プログラム責任者が配置されている場合には、その氏名等） （基幹型記入） ＊　プログラム責任者の履歴を様式２に記入 ＊　副プログラム責任者が配置されている場合にあっては、副プログラム責任者の履歴を様式２に記入			（プログラム責任者） ﾌﾘｶﾞﾅ　フジサワ　カズオ 氏名（姓）　藤澤　氏名（名）　和夫 所属　国保水俣市立総合医療センター　役職　診療部長　糖尿病内分泌センター所長 （副プログラム責任者） １．有（　名）　(0.) 無
３３．臨床研修指導医（指導医）等の氏名等 （基幹型記入） すべての臨床研修指導医等(協力型臨床研修病院に所属する臨床研修指導医及び臨床研修協力施設に所属する臨床研修の指導を行う者を含む。)について氏名等を記入してください。			＊　別紙４に記入
３４．インターネットを用いた評価システム			(1.) 有（　(・EPOC)・その他（　）　）　０．無
３５．研修開始時期 （基幹型、地域密着型記入）			西暦　2024 年　４月　１日
３６．研修医の処遇 （基幹型・協力型記入）	処遇の適用 （基幹型臨床研修病院は、２に○をつけて、以下の各項目について記入してください。）		１．基幹型臨床研修病院と同一の処遇とする。 １を選択した場合には、以下の研修医の処遇の項目については、記入不要です。 (2.) 病院独自の処遇とする。
	常勤・非常勤の別		(1.) 常勤　２．非常勤

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－６－

病院施設番号：031248　　臨床研修病院の名称：国保水俣市立総合医療センター

※研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。

３７．研修医の処遇（続き） （基幹型・協力型記入）	研修手当		一年次の支給額（税込み） 基本手当／月（　414,810　円） 賞与／年（　720,000　円）	二年次の支給額（税込み） 基本手当／月（　428,450　円） 賞与／年（　1,170,000　円）
			時間外手当：（1.）有　0．無 休日手当　：（1.）有　0．無	
	勤務時間		基本的な勤務時間（　8：30　～　17：15　）24 時間表記 休憩時間（　12：00　～　13：00　）	
			時間外勤務の有無：（1.）有　0．無	
	休暇		有給休暇（１年次：　10　日、２年次：　11　日） 夏季休暇（1.）有　0．無） 年末年始（1.）有　0．無） その他休暇（具体的に：　　）	
	当直		回数（約　2　回／月）	
	研修医の宿舎（再掲）		（1.）有（単身用：　3　戸、世帯用：　　戸） 0．無（住宅手当：　　円） 有を選択した場合には、単身用・世帯用に分けて宿舎の戸数を記入してください。 無を選択した場合には、住宅手当の金額を記入してください。住宅手当の支給が無い場合は、「0」と記入してください。	
	研修医室（再掲）		（1）有（　1　室）　0．無 有を選択した場合には、研修医室の室数を記入してください。	
	社会保険・労働保険		公的医療保険（　熊本県市町村職員共済組合　）	
			公的年金保険（　厚生年金保険　）	
			労働者災害補償保険法の適用（1.）有　0．無）、 国家・地方公務員災害補償法の適用（1.）有　0．無）	
			雇用保険（1.）有　0．無）※1 年目のみ、2 年次修了時は退職手当を支給	
	健康管理		健康診断（年　2　回） その他（具体的に　　）	
	医師賠償責任保険の扱い		病院において加入（1.）する　0．しない） 個人加入（1．強制（0.）任意）	
	外部の研修活動		学会、研究会等への参加：（1.）可　0．否	
			学会、研究会等への参加費用支給の有無：（1.）有　0．無	
	院内保育所（再掲）		院内保育所の有無　（1.）有　0．無） 有を選択した場合、開所時間を記入してください　（　7 時　30 分　～　18 時　00 分）	
			病児保育　（1.）有　0．無） 夜間保育　（1．有（0.）無）	
			上記保育所は研修医の子どもに使用可能か　（1.）可　0．不可）	
	保育補助（再掲）		ベビーシッター・一時保育等利用時の補助　（1.）有　0．無）	
			その他の補助（具体的に：　休日に一時保育の利用が可能　）	
	体調不良時に休憩・授乳等に使用できる場所（再掲）		休憩場所　（1.）有　0．無） 授乳スペース　（1.）有　0．無）	
	その他育児関連施設・取組があれば記入（院外との連携した取組もあれば記入）（再掲）		（　　）	
	研修医のライフイベントの相談窓口（再掲）		（1.）有　0．無 窓口の名称がある場合記入（　総務係　） 窓口の専任担当（1.）有（　5　名）　0．無	
	各種ハラスメントの相談窓口（再掲）		窓口の名称を記入（　ハラスメント相談窓口　） 窓口の専任担当（1.）有（　5　名）　0．無	
３８．研修医手帳（基幹型記入）			（1）有　0．無	
３９．連携状況（基幹型記入）			＊　様式６に記入	

※欄は、記入しないこと。

（記入要領）

１　研修プログラムを変更する場合には「１．研修プログラム変更」に、研修プログラムを新設する場合には「２．研修プログラムの新設」に〇をつけること。

２　報告又は届出を行う臨床研修病院の型に応じて、「１．基幹型臨床研修病院　２.協力型臨床研修病院」の番号に〇をつけること。

３　特に定めのあるもののほか、原則として、報告・届出日の属する年度（以下「報告・届出年度」という。）の４月１日現在で作成すること。

４　既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入し、前回提出した報告書の内容と異なる項目について記入すること。

５　各項目に、記入が必要な臨床研修病院の型を記載しているので、臨床研修病院の型に合わせて、記入が必要な項目について記入すること。

６　（基幹型・協力型記入）と記載されている項目は、基幹型臨床研修病院・協力型臨床研修病院のすべての臨床研修病院が記入対象となること。

７　（１．有　０．無）のように選択形式の項目は、いずれかに〇をつけること。

８　項目番号１から２７までについては、年次報告において記入すること。

９　研修プログラムの変更・新設の届出の場合は、項目番号２８から３９までについても記入すること。

10　※欄は、記入しないこと。

11　「作成責任者の氏名及び連絡先」欄の作成責任者は、記載内容について十分回答できる者とすること。

12　「病院群の構成等」欄は、病院群を構成するすべての臨床研修病院、大学病院及び臨床研修協力施設の名称、新規指定の有無、病院群の構成の変更等について別表に記入すること。

13　「病院のホームページアドレス」欄は、当該病院がホームページを有する場合にのみ記入することで差し支えないこと。

14　「医師（研修医を含む。）の員数」欄について

（１）「医療法第２１条の規定に基づく人員の算定に当たっての取扱い等について」（平成１０年６月２６日付け健政発第７７７号・医薬発第５７４号）に基づき、当該病院に勤務する医師（研修医を含む。）について記入すること。なお、歯科医師は算定しないこと。

（２）「常勤」とは、原則として当該病院で定めた医師の勤務時間のすべてを勤務する者をいうものであること。

（３）「非常勤」については、常勤以外の医師について、次に掲げる換算式により常勤換算をした数を記入すること。

※　換算式

$$\frac{\text{非常勤医師の１週間の勤務時間数}}{\text{常勤医師の１週間の勤務時間数}} = \text{常勤換算をした数（小数第二位を四捨五入）}$$

（４）「計（常勤換算）」については、常勤医師数と非常勤医師を常勤換算した数の合計を記入すること。

（５）「医療法による医師の標準員数」は、医療法施行規則第１９条第１項第１号の規定に従い、次に掲げる算出式により算出すること（患者数は、入院及び外来とも報告・届出年度の前年度の１日平均とすること。）。

※　算出式

$$\left[\frac{\text{精神病床及び療養病床に係る入院患者数（歯科の入院患者数を除く。）}}{3} + \text{精神病床及び療養病床以外の病床に係る入院患者数（歯科の入院患者数を除く。）} + \frac{\text{外来患者数（精神科、耳鼻咽喉科、眼科及び歯科の外来患者数を除く。）}}{2.5} + \frac{\text{精神科、耳鼻咽喉科及び眼科の外来患者数}}{5} - 52\right] \times \frac{1}{16} + 3 = \text{医師の標準員数}$$

ただし、医療法施行規則第４３条の２に該当する病院については、上記算出式によらないものとする。

（６）当該病院の研修プログラムで研修を行っているすべての研修医の氏名等について、様式３に記入すること（歯科医師は記入しない。）。

15　「救急医療の提供の実績」欄について

（１）「救急病院認定の告示」欄は、「救急病院等を定める省令」（昭和３９年厚生省令第１８６号）に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院である場合に、告示年月日（西暦）及び告示番号を記入するものであること。

（２）「医療計画上の位置付け」欄は、医療計画上、初期救急医療機関、第二次救急医療機関又は第三次救急医療機関として位置付けられている場合に、該当する番号に〇をつけるものであること。

（３）「救急専用診療（処置）室の有無」欄は、救急専用診療（処置）室を有する場合には、「１．有」に〇をつけるとともに、その面積を記入し、有しない場合には、「０．無」に〇をつけること。

（４）「救急医療の実績」欄については、「前年度の件数」は報告・届出年度の前年度の救急取扱件数（来院方法を問わず、すべての件数）、「１日平均件数」は報告・届出年度の前年度の救急取扱件数を年間総日数（３６５又は３６６）で除した数、また、「救急車取扱件数」は報告・届出年度の前年度の救急取扱件数のうちで来院方法が救急車によるものの数をそれぞれ記入すること。さらに、これらの件数のうち診療時間外に受け付けた件数について、それぞれの「うち診療時間外」欄に記入すること。

（５）「診療時間外の勤務体制」については、「医師」数は、「救急医療を提供している診療科」の診療時間外の勤務体制における医師数を記入すること。また、「看護師及び准看護師」数は、専ら救急医療を提供するための病棟・外来に勤務する看護師及び准看護師のうち、診療時間外の交代制及び宿日直体制における看護師及び准看護師数を記入すること。

（６）「指導を行う者の氏名等」欄については、救急医療の指導を行う者について別紙４に記入すること。

（７）「救急医療を提供している診療科」欄は、内科系、外科系又は小児科に係る救急医療の提供の有無について、該当する番号に〇をつけ、その他の診療科に係る救急医療を提供している場合には、「その他」欄に当該診療科名を記入すること。

16　「医療法上の許可病床数（歯科の病床数を除く。）」欄は、当該病院の病床の種別ごとの許可病床数を記入すること。

17　「病床の種別ごとの平均在院日数」欄は、次に掲げる算出式により算出した、報告・届出年度の前年度の平均在院日数を記入すること。ただし、在院患者延日数とは、報告・届出年度の前年度の毎日午後１２時現在の在院患者数を合計した数とすること。なお、在院患者延日数、新入院患者数及び退院患者数については、保険診療であるか否かを問わないものであること。

※　算出式

$$\frac{\text{在院患者延日数}}{1/2\text{（新入院患者数＋退院患者数）}} = \text{平均在院日数（小数第二位を四捨五入）}$$

18　「前年度の分娩件数」欄は、報告・届出年度の前年度の正常分娩件数及び異常分娩件数についてそれぞれ記入すること。

19　「臨床病理検討会（ＣＰＣ）の実施状況」欄について

（１）「開催回数」欄は、報告・届出病院の主催の下に開催したＣＰＣの報告・届出年度の前年度の開催回数及び報告・届出年度の開催見込数を記入する

こと。

（２）「剖検数」欄は、報告・届出年度の前年度の剖検件数及び報告・届出年度の剖検見込数を記入すること。

（３）「剖検を行う場所」欄は、剖検を当該医療機関の剖検室で行っている場合は「１．有」に〇をつけること。また、剖検を当該医療機関の剖検室で行っていない場合には、「０．無」に〇をつけるとともに、剖検を大学の剖検室において行っているときは「（　　）大学」に当該大学名を記入し、剖検を他病院の剖検室で行っているときは「（　　）病院」に当該病院名を記入すること。

20　「研修医のための宿舎及び研修医室の有無」欄について

（１）「研修医の宿舎」欄は、研修医の利用に供する宿舎（当該病院の敷地の内外を問わない。）を有する場合は「１．有」に〇をつけるとともに、「単身用」・「世帯用」のそれぞれの戸数を記入すること。また、研修医のための宿舎を有さない場合は「０．無」に〇をつけるとともに、住宅手当の支給内容（全額支給、一律〇〇円、最低〇〇円から最高〇〇円の範囲内で負担額に応じて支給等）を記入すること（住宅手当を支給していない場合には「０円」と記入すること。）。

（２）「研修医室」欄は、研修医室を有する場合は「１．有」に〇をつけるとともに、その室数を記入すること。また、研修医室を有さない場合は「０．無」に〇をつけること。

21　「図書、雑誌、インターネット等が利用できる環境及び医学教育用機材の整備状況」欄について

（１）「文献データベース等の利用環境」欄は、Medline 等の文献データベース及び教育用コンテンツのそれぞれについて、利用できる場合は「１．有」に〇をつけ、利用できない場合には「０．無」に〇をつけること。また、文献データベース及び教育用コンテンツ以外に、これに類するもので利用できるものがある場合は「その他（　　）」にその内容を記入すること。

（２）「医学教育用機材の整備状況」欄は、医学教育用シミュレーターの整備の有無について該当する番号に〇をつけること。また、臨床研修に必要なその他の医学教育用機材を整備している場合は「その他（　　）」にその内容を記入すること。

22　「病歴管理体制」欄について

（１）「診療に関する諸記録の管理方法」欄は、診療に関する諸記録（診療録、病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約等）に関する管理方法について、主に中央管理を行っている場合には「１．中央管理」、主に各科管理を行っている場合には「２．各科管理」に〇をつけること。また、いずれにも該当しない場合は「その他」欄にその内容を具体的に記入すること。

（２）「診療録の保存方法」欄は、診療録を文書により保存している場合には「１．文書」、電子媒体により保存している場合には「２．電子媒体」に〇をつけること。また、双方併用で保存している場合等は「その他」欄に具体的に記入すること。

23　「医療安全管理体制」欄について

（１）「安全管理者の配置状況」欄は、安全管理者を配置している場合は「１．有」に〇をつけるとともに、その人数を記入すること。また、安全管理者を配置していない場合には「０．無」に〇をつけること。

（２）「安全管理部門の設置状況」欄は、安全管理部門の専任職員及び兼任職員の数をそれぞれ記入するとともに、安全管理部門の主な活動内容を記入すること。

（３）「患者からの相談に適切に応じる体制の確保状況」欄は、患者相談窓口の責任者の氏名及び役職並びに患者相談への対応時間を記入するとともに、患者相談窓口に係る規約を有する場合は「１．有」に〇をつけ、有さない場合には「０．無」に〇をつけること。

24　「受入可能定員」欄は、医療法上の許可病床数（歯科の病床数を除く。）からの算出（÷１０）及び年間入院患者数（報告・届出年度の前々年度からの繰越患者数＋報告・届出年度の前年度の新規入院実患者数）からの算出（÷１００）の双方とも記入すること。

25　「当該病院からの医師派遣実績」欄は、「加算する数値については、研修医の募集を行う年度の前年度末の時点で医師派遣等が行われている常勤の医師数が２０人以上の場合を１とし、５人増える毎に１を加え、８０人以上の場合を１３」とする。

26　「精神保健福祉士、作業療法士その他診療要員の配置状況」欄は、当該病院が精神科の研修を行う場合に記入するものであり、精神保健福祉士、作業療法士、臨床心理技術者のそれぞれの職種について、職員数及び常勤・非常勤別の内訳数を記入すること。また、これらの職種以外にも精神科に係る技術職員がいる場合は、その職員数及び常勤・非常勤別の内訳数を記入すること。

27　「前年度に育児休業を取得した研修医の数」は、当該年度に育児休業を取得した研修医がいる場合は、男女、年次別にその人数を記入すること。

28　「研修医の妊娠・出産・育児に関する施設及び取組に関する事項」欄については、

（１）「院内保育所」欄は、病院内に保育所等の保育施設を有している場合は「１．有」に〇をし、保育所の基本的な開所時間を記入すること。ない場合には「０．無」に〇をすること。「病児保育」・「夜間保育」欄は、院内保育所で病児保育・夜間保育を行っている場合は、それぞれにつき「１．有」に〇をし、ない場合はそれぞれにつき「０．無」に〇をすること。「上記保育所は研修医の子どもに使用可能か」欄は、上記で回答した保育所に研修医が子どもを預けることが可能な場合は「１．可」に〇をし、預けることができない場合は「０．不可」に〇をすること。

（２）「保育補助」欄は、ベビーシッターや一時保育等利用時の補助を病院が行っている場合は「１．有」に〇をし、ない場合は「０．無」に〇をすること。その他に何らかの保育補助を行っている場合は、その他欄にその内容を具体的に記入すること。

（３）「体調不良時に休憩・授乳等に使用できる場所」欄は、病院内に研修医が使用できる休憩場所や授乳スペースを有している場合は、それぞれにつき「１．有」に〇をし、ない場合はそれぞれにつき「０．無」に〇をすること。

（４）「その他育児関連施設・取組」欄は、上記（10）～（12）に該当しない、育児関連施設を有している場合や育児関連の取組を行っている場合（院外施設・制度との連携した取組も含む）は、回答欄内にその内容を具体的に記入すること。

（５）「研修医のライフイベント相談窓口」欄は、病院内に研修医がライフイベントについて相談できる窓口を設置している場合は「１．有」に〇をし、ない場合は「０．無」に〇をすること。「１．有」を選択した病院は、その窓口の名称がある場合は記載し、窓口の専任担当がいる場合は「１．有」に〇をして、その人数を記載すること、専任担当がいない場合は「０．無」に〇をすること。

（６）「各種ハラスメント相談窓口」欄は、病院内に研修医が各種ハラスメントについて相談できる窓口の名称について記載し、窓口の専任担当がいる場合は「１．有」に〇をして、その人数を記載すること、専任担当がいない場合は「０．無」に〇をすること。

29　「研修プログラムの名称」以降の欄については、研修プログラムごとに別葉に記入すること。

30　「インターネットを用いた評価システム」欄は、該当するものに〇をつけ、「１．有」を選択した場合は、EPOC かその他を選択すること。

31　「研修医の募集定員」については、当該病院で臨床研修を行っている１年次及び２年次の合計が受入可能定員を超えないこと。

32　「研修医の募集及び採用の方法」欄について

（１）「募集方法」欄は、研修医を公募により募集する場合には「１．公募」に〇をつけ、その他の方法とする場合にはその他欄にその内容を具体的に記入すること。

（２）「応募必要書類」欄は、研修医が選考に応募する際に必要な書類すべてに〇をつけ、その他に必要な書類がある場合には、その他欄にその内容を具体的に記入すること。

（３）「選考方法」欄は、研修医の選考方法について該当するものすべてに〇をつけ、その他に選考方法を設ける場合には、その他欄にその内容を具体的に記入すること。

（４）「募集及び選考の時期」欄は、募集及び選考の時期について、具体的に記入すること。

（５）「マッチング利用の有無」欄は、マッチングを利用する場合には「１．有」に〇をし、マッチングを利用しない場合には「０．無」に〇をすること。

32　「研修医の処遇」欄について

（１）「処遇の適用」欄については、基幹型臨床研修病院は、２に〇をつけ、以降の研修医の処遇の各項目について記入すること。また、協力型臨床研修病院は、基幹型臨床研修病院と同一の処遇とする場合には、１に〇をつけ（この場合、以降の研修医の処遇の項目については記入しなくとも差し支えないこと。)、また、病院独自の処遇とする場合には、２に〇をつけること。

（２）「研修手当」欄は、研修医の基本的な研修手当について、１年次及び２年次の基本手当の額（税込み)、賞与の支給額を記入すること。基本手当が月給ではない場合にあっては、およその月額を記入すること。時間外手当及び休日手当を支給する場合は、それぞれ「１．有」に、支給しない場合には「０．無」に〇をつけること。なお、時間外勤務及び休日勤務がある場合においては、時間外手当及び休日手当が支給されるものと考えられること。

（３）「勤務時間」欄は、研修医の基本的な勤務時間及び勤務時間中の休憩時間について記入すること。また、「時間外勤務の有無」欄は、時間外勤務がある場合には「１．有」に、ない場合には「０．無」に〇をつけること。

（４）「休暇」欄は、研修医の基本的な休暇の内容について、１年次及び２年次の有給休暇付与日数を記入すること。また、夏季休暇、年末年始休暇の有無について該当するものに〇をつけること。また、これら以外に休暇を付与する場合は、その具体的休暇名を記入すること。

（５）「当直」欄は、研修医の一月あたりのおよその当直回数について記入すること。

（６）「社会保険・労働保険」欄は、研修医に適用される社会保険・労働保険について、「公的医療保険（　　)」欄に「組合健康保険」等と、「公的年金保険（　　)」欄に「厚生年金保険」等と記入し、「労働者災害補償保険法の適用」欄、「国家・地方公務員災害補償法の適用」欄、「雇用保険」欄のそれぞれ該当するものに〇をつけること。

（７）「健康管理」欄は、研修医の基本的な健康管理について、健康診断の回数を記入すること。また、健康診断以外で健康管理を実施している場合は、「その他」欄に具体的に記入すること。

（８）「医師賠償責任保険の扱い」欄は、研修医の医師賠償責任保険の基本的な扱いについて該当するものに〇をつけること。

（９）「外部の研修活動」欄は、学会、研究会等への参加を認めるか否かについて該当するものに〇をつけ、認める場合における参加費用の支給の有無についても、該当するものに〇をつけること。

7. 病院群の構成等

別表

基幹型又は地域密着型臨床研修病院の名称（所在都道府県）：国保水俣市立総合医療センター　（　熊本県　）

基幹型又は地域密着型臨床研修病院				協力型臨床研修病院					臨床研修協力施設					研修プログラム	
所在都道府県	二次医療圏	名称	新規	所在都道府県	二次医療圏	追加・削除	名称	新規	所在都道府県	二次医療圏	追加・削除	名称	新規	名称	定員
熊本県	芦北	国保水俣市立総合医療センター （病院施設番号:032148　）		熊本県	熊本・上益城		熊本大学病院 （病院施設番号:030729）		熊本県	芦北		竹本医院 （病院施設番号:　　）		国保水俣市立総合医療センター群卒後臨床研修プログラム	3
				熊本県	熊本・上益城		独立行政法人国立病院機構熊本医療センター （病院施設番号:030726）					（病院施設番号:　　）			
							（病院施設番号:　　）					（病院施設番号:　　）			
							（病院施設番号:　　）					（病院施設番号:　　）			
							（病院施設番号:　　）					（病院施設番号:　　）			
							（病院施設番号:　　）					（病院施設番号:　　）			
							（病院施設番号:　　）					（病院施設番号:　　）			
							（病院施設番号:　　）					（病院施設番号:　　）			
							（病院施設番号:　　）					（病院施設番号:　　）			
							（病院施設番号:　　）					（病院施設番号:　　）			

病院群を構成する臨床研修病院及び研修協力施設（病院又は診療所に限る）が同一の二次医療圏又は同一の都道府県を越えている場合は、その理由を以下に記載。

医師の往来、患者紹介等緊密な連携を図っており、当院では対応が困難な研修について対応可能である。また、研修医が地方と都市部両方の病院を経験することにより、豊富な症例を経験することができる。

※　該当する項目について、上から病院施設番号順に詰めて記入すること。

※　病院群を構成するすべての基幹型病院、地域密着型病院、協力型病院及び臨床研修協力施設（今回の届出により削除しようとするものを含む。）の所在都道府県、二次医療圏、名称をそれぞれの「所在都道府県」「二次医療圏」、「名称」欄に記入（既に病院施設番号を取得している研修病院等は番号を「名称」欄に記入）した上で、それぞれの施設が新たに臨床研修協力病院（協力施設）となる場合は「新規」欄に「○」を記入し、また、臨床研修病院（協力施設）を追加又は削除する場合にはそれぞれの施設が以前の病院群に追加されるか以前の病院群から削除されるかにより「追加・削除」欄に「追加」又は「削除」を記入すること。

※　当該病院群に係るすべての研修プログラムの名称及び募集定員（自治医科大学卒業生分等マッチングによらないものを含む）を「研修プログラム」欄に記入すること。

６．研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数（令和４年度開催回数２回）

病院施設番号：０３２１４８　臨床研修病院の名称：国保水俣市立総合医療センター

氏名	所属	役職	備考
フリガナ　アベ　ミチオ 姓　阿部　名　道雄	国保水俣市立総合医療センター	院長	研修管理委員長、指導医
フリガナ　サカモト　フデオ 姓　坂本　名　不出夫	国保水俣市立総合医療センター	水俣市病院事業管理者	
フリガナ　ヒロセ　トヨキ 姓　廣瀬　名　豊樹	国保水俣市立総合医療センター	副院長	指導医
フリガナ　クスノキ　シンイチロウ 姓　楠　名　真一郎	国保水俣市立総合医療センター	副院長兼事務部長兼医事課長	指導医
フリガナ　タシロ　ヤスマサ 姓　田代　名　康正	国保水俣市立総合医療センター	診療部長、呼吸器内科部長	指導医
フリガナ　ミヤザキ　マコト 姓　宮﨑　名　信	国保水俣市立総合医療センター	診療部長	指導医
フリガナ　フジサワ　カズオ 姓　藤澤　名　和夫	国保水俣市立総合医療センター	診療部長、代謝内科センター長	プログラム責任者、指導医
フリガナ　シガキ　ヒロノブ 姓　志垣　名　博信	国保水俣市立総合医療センター	外科部長	指導医
フリガナ　クドウ　マレイナ 姓　工藤　名　真励奈	国保水俣市立総合医療センター	脳神経センター長	指導医
フリガナ　タテヤマ　マサクニ 姓　立山　名　雅邦	国保水俣市立総合医療センター	消化器センター長	指導医

※　１ページ目の最上欄には、研修管理委員長の氏名等を記入すること。「所属」欄には、当該構成員が所属する病院又は施設の名称を記入すること。研修管理委員長、プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にその旨を記入すること。欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.　)」欄にページ数を記入すること。

６．研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数（令和４年度開催回数２回）

病院施設番号：０３２１４８　臨床研修病院の名称：国保水俣市立総合医療センター

氏名	所属	役職	備考
フリガナ　イワシタ　ヒトシ 姓　岩下　名　仁	国保水俣市立総合医療センター	泌尿器科部長	指導医
フリガナ　イ　ケンイチロウ 姓　井　名　建一朗	国保水俣市立総合医療センター	脳神経内科部長	指導医
フリガナ　マツイ　ミキオ 姓　松井　名　幹夫	国保水俣市立総合医療センター	産婦人科部長	指導医
フリガナ　タニガワ　ヒロキ 姓　谷川　名　広紀	国保水俣市立総合医療センター	皮膚科部長	指導医
フリガナ　クロサワ　コウイチ 姓　黒澤　名　孝一	国保水俣市立総合医療センター	小児科部長	指導医
フリガナ　ババ　トモコ 姓　馬場　名　知子	国保水俣市立総合医療センター	麻酔科医師	指導医
フリガナ　ウエムラ　トモアキ 姓　上村　名　智明	国保水俣市立総合医療センター	循環器内科部長	指導医
フリガナ　マツシタ　サユリ 姓　松下　名　小百合	国保水俣市立総合医療センター	看護部長	看護部門の責任者
フリガナ　ウエダ　ケイスケ 姓　上田　名　敬祐	国保水俣市立総合医療センター	総務課長	事務部門の責任者
フリガナ　ムコウヤマ　マサシ 姓　向山　名　政志	熊本大学病院	教授	研修実施責任者、指導医

※　１ページ目の最上欄には、研修管理委員長の氏名等を記入すること。「所属」欄には、当該構成員が所属する病院又は施設の名称を記入すること。研修管理委員長、プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にその旨を記入すること。欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.　)」欄にページ数を記入すること。

６．研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数（令和４年度開催回数２回）

病院施設番号：０３２１４８　臨床研修病院の名称：国保水俣市立総合医療センター

氏名	所属	役職	備考
フリガナ　カワキタ　トシロウ 姓　河北　名　敏郎	国立病院機構熊本医療センター	教育研修科長	研修実施責任者、指導医
フリガナ　マナベ　テツロウ 姓　眞鍋　名　哲郎	水俣市芦北郡医師会	水俣市芦北郡医師会長	外部委員
フリガナ　モリ　ケンイチロウ 姓　森　名　健一郎	竹本医院	院長	研修実施責任者
フリガナ 姓　名			
フリガナ 姓　名			
フリガナ 姓　名			
フリガナ 姓　名			
フリガナ 姓　名			
フリガナ 姓　名			
フリガナ 姓　名			

※　１ページ目の最上欄には、研修管理委員長の氏名等を記入すること。「所属」欄には、当該構成員が所属する病院又は施設の名称を記入すること。研修管理委員長、プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にその旨を記入すること。欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.　)」欄にページ数を記入すること。

12. 診療科ごとの入院患者・外来患者の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

臨床研修病院の名称：国保水俣市立総合医療センター

病院施設番号：０３２１４８

区分	内科	救急部門	外科	麻酔科（部門）	小児科	産婦人科	又は 産科	又は 婦人科	精神科	病院で定めた必修科目の診療科			その他の研修を行う診療科 呼吸器内科（再掲）	循環器内科（再掲）	代謝内科（再掲）	合計
年間入院患者実数 （）内は救急件数又は分娩件数	1,708	(9,515)	1,624	-	149	93 (55)	（ ）						466	401	127	
年間新外来患者数	3,583	-	2,081	0	1,079	198							2,095	329	235	
１日平均外来患者数 （ ）内は年間外来診療日数	254.0 (243)	26.0 (365)	204.9 (243)	0.2 (243)	32.5 (243)	14.4 (243)	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	52.0 (243)	53.8 (243)	80.9 (243)	
平均在院日数	20.40	-	25.50	-	5.14	10.28							17.15	20.09	21.10	
常勤医師数 （うち臨床研修指導医（指導医）数）	16 (5)	1 (1)	17 (5)	1 (1)	3 (1)	1 (1)	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	3 (1)	2 (1)	4 (1)	（ ）

※ 「年間入院患者実数」とは、提出年度の前々年度の繰越患者数に提出年度の前年度中における新入院患者数を加えた数とすること。「年間新外来患者数」とは、提出年度の前年度中に来院した外来患者のうち、初診料を算定した患者数とすること。「１日平均外来患者数」とは、年間外来患者延数÷年間外来診療日数による数（小数第二位を四捨五入）とすること。「病院で定めた必修科目の診療科」欄等が足りない場合には、続紙（様式自由）に記載し添付すること。「救急件数」及び「分娩件数」とは、10. の救急医療の実績の前年度の件数及び 14. の正常分娩件数と異常分娩件数の合計とすること。

※　「内科」とは、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、神経内科等を含めた広義の内科のうち基本研修科目の内科分野の研修を行う診療科であり、「外科」とは、心臓血管外科、呼吸器外科、脳外科等を含めた広義の外科のうち基本研修科目の外科分野の研修を行う診療科であること。

12. 診療科ごとの入院患者・外来患者の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

臨床研修病院の名称：国保水俣市立総合医療センター

病院施設番号：０３２１４８

区　　分	その他の研修を行う診療科															合計
	小児科（再掲）	外科（再掲）	整形外科（再掲）	産婦人科（再掲）	泌尿器科（再掲）	消化器内科（再掲）	脳神経内科（再掲）	脳神経外科（再掲）	麻酔科（再掲）	皮膚科	放射線科	病理診断科				
年間入院患者実数 （）内は救急件数又は分娩件数	149	394	655	93	424	499	215	151	－	132	1					3,707 (9,570)
年間新外来患者数	1,079	236	1,410	198	233	608	316	186	－	567	310					7,802
１日平均外来患者数 （ ）内は年間外来診療日数	32.5 (243)	24.4 (243)	141.9 (243)	14.4 (243)	31.5 (243)	48.0 (243)	19.1 (243)	6.9 (243)	0.2 (243)	40.9 (243)	2.5 (243)					
平均在院日数	5.14	18.05	35.96	10.28	11.86	17.81	33.53	38.79	-	16.29	2.00					
常勤医師数 （うち臨床研修指導医（指導医）数）	2 （１）	5 （２）	7 （１）	1 （１）	3 （１）	4 （１）	2 （１）	2 （１）	1 （１）	3 （１）	2 （１）	（1）				42 (16)

※　「年間入院患者実数」とは、提出年度の前々年度の繰越患者数に提出年度の前年度中における新入院患者数を加えた数とすること。「年間新外来患者数」とは、提出年度の前年度中に来院した外来患者のうち、初診料を算定した患者数とすること。「１日平均外来患者数」とは、年間外来患者延数÷年間外来診療日数による数（小数第二位を四捨五入）とすること。「病院で定めた必修科目の診療科」欄等が足りない場合には、続紙（様式自由）に記載し添付すること。「救急件数」及び「分娩件数」とは、10. の救急医療の実績の前年度の件数及び 14. の正常分娩件数と異常分娩件数の合計とすること。

※　「内科」とは、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、神経内科等を含めた広義の内科のうち基本研修科目の内科分野の研修を行う診療科であり、「外科」とは、心臓血管外科、呼吸器外科、脳外科等を含めた広義の外科のうち基本研修科目の外科分野の研修を行う診療科であること。

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

（令和４年度分）

臨床研修病院の名称：
国保水俣市立総合医療センター

病院施設番号：０３２１４８

基幹型臨床研修病院名	担当分野	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週
国保水俣市立総合医療センター	内科	3	3		3	3								
熊本医療センター	内科							1						
国保水俣市立総合医療センター	救急部門											3		
熊本医療センター	救急部門	1												
熊本医療センター	地域医療部門													
熊本大学病院	地域医療部門													
	地域医療部門　計													
国保水俣市立総合医療センター	外科			3										
国保水俣市立総合医療センター	麻酔科											3		
国保水俣市立総合医療センター	小児科							3						
熊本総合病院	小児科													
	小児科　計							3					1	1
国保水俣市立総合医療センター	産婦人科									3			1	1
済生会熊本病院	産婦人科		1					1						
	産婦人科　計		1					1		3				

※　年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※　当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※　基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各４週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間４週について１人とすること）を記入すること。

※　「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

（令和５年度分）

臨床研修病院の名称：
国保水俣市立総合医療センター

病院施設番号：０３２１４８

基幹型臨床研修病院名	担当分野	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週
国保水俣市立総合医療センター	内科	1	1		1	1			1		3		3	
熊本医療センター	内科								1					
国保水俣市立総合医療センター	救急部門											1		
熊本医療センター	救急部門	1												
熊本医療センター	地域医療部門											3		
熊本大学病院	地域医療部門	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		1	1
	地域医療部門　計	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	3	1	1
国保水俣市立総合医療センター	外科			1										
国保水俣市立総合医療センター	麻酔科											1		
国保水俣市立総合医療センター	小児科							1						
熊本総合病院	小児科	1	1	1	1	1	1		1	1	1		1	1
済生会熊本病院	小児科											1		
	小児科　計	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
国保水俣市立総合医療センター	産婦人科						1							

※　年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※　当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※　基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各４週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間４週について１人とすること）を記入すること。

※　「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

（令和６年度分）

臨床研修病院の名称：
国保水俣市立総合医療センター

病院施設番号：０３２１４８

基幹型臨床研修病院名	担当分野	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週
国保水俣市立総合医療センター	内科	3	3		3	3			3	1				
熊本医療センター	内科			1					1					
国保水俣市立総合医療センター	救急部門											3		
熊本医療センター	救急部門	1												
熊本医療センター	地域医療部門											1		
熊本大学病院	地域医療部門	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		1	1
	地域医療部門　計	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
国保水俣市立総合医療センター	外科			3										
国保水俣市立総合医療センター	麻酔科											3		
国保水俣市立総合医療センター	小児科							3						
熊本総合病院	小児科	1	1	1	1	1	1		1	1	1	1	1	1
済生会熊本病院	小児科	1	1	1	1	1	1		1	1	1	1	1	1
	小児科　計	2	2	2	2	2	2	3	2	2	2	2	2	2
国保水俣市立総合医療センター	産婦人科						3							

※　年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※　当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※　基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各４週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間４週について１人とすること）を記入すること。

※　「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

（令和７年度分）

臨床研修病院の名称：
国保水俣市立総合医療センター

病院施設番号：０３２１４８

基幹型臨床研修病院名	担当分野	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週
国保水俣市立総合医療センター	内科	3	3		3	3			3	3				
熊本医療センター	内科			1					1					
国保水俣市立総合医療センター	救急部門											3		
熊本医療センター	救急部門	1												
熊本医療センター	地域医療部門											3		
熊本大学病院	地域医療部門	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		1	1
	地域医療部門　計	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	31	1	1
国保水俣市立総合医療センター	外科			3										
国保水俣市立総合医療センター	麻酔科											3		
国保水俣市立総合医療センター	小児科							3						
熊本総合病院	小児科	1	1	1	1	1	1		1	1	1	1	1	1
済生会熊本病院	小児科	1	1	1	1	1	1		1	1	1	1	1	1
	小児科　計	2	2	2	2	2	2	3	2	2	2	2	2	2
国保水俣市立総合医療センター	産婦人科						3							

※　年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※　当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※　基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各４週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間４週について１人とすること）を記入すること。

※　「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

３１．臨床研修指導医（指導医）等の氏名等　　病院施設番号：032148　　臨床研修病院の名称：国保水俣市立総合医療センター

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 １　プログラム責任者 ２　副プログラム責任者 ３ 研修実施責任者 ４ 臨床研修指導医（指導医）
地域医療	阿部　道雄	国保水俣市立総合医療センター	院長	31 年	○	日本外科学会専門医・認定医 平成 26 年度第 2 回臨床研修指導医養成講習会（日本病院会主催）受講済	032148104	３、４（032148104）
救急部門	廣瀬　豊樹	国保水俣市立総合医療センター	副院長	36 年	○	第5回九州ブロック医師臨床研修指導医養成ワークショップ受講済	032148104	４（032148104）
代謝内科	藤澤　和夫	国保水俣市立総合医療センター	診療部長	21 年	○	日本内科学会認定内科医、総合内科専門医、指導医、日本糖尿病学会専門医・指導医、第118回臨床研修指導医養成講習会（全国自治体病院病院協議会主催）受講済	032148104	１、４（032148104）

「担当分野」欄には、様式 10 別紙３の臨床研修を行う分野及び病理（ＣＰＣ）を記入すること。
※　「所属」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。
※　「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。
※　「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。
※　プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。
＊研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者
＊臨床研修指導医（指導医）・・・研修医に対する指導を行う医師であり、７年（８４月）以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者
※　地域医療重点プログラムにおいては、地域医療の指導医を必ず記載すること
※　欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.　)」欄にページ数を記入すること。

３１．臨床研修指導医（指導医）等の氏名等　　病院施設番号：032148　　臨床研修病院の名称：国保水俣市立総合医療センター

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 １　プログラム責任者 ２　副プログラム責任者 ３ 研修実施責任者 ４ 臨床研修指導医（指導医）
呼吸器内科	田代　康正	国保水俣市立総合医療センター	診療部長	24 年	○	日本内科学会総合内科専門医、日本内科学会認定医、日本呼吸器学会専門医、日本感染症学会暫定指導医、日本感染症学会専門医、ICD、第 13 回熊本大学医学部附属病院群臨床研修指導医研修ワークショップ受講済	032148104	４（032148104）
脳神経外科	工藤　真励奈	国保水俣市立総合医療センター	脳神経センター長	24 年	○	日本脳神経外科学会専門医、日本脳卒中学会専門医、平成 28 年度福岡大学病院指導医講習会	032148104	４（032148104）

※　「担当分野」欄には、様式 10 別紙３の臨床研修を行う分野及び病理（ＣＰＣ）を記入すること。
※　「所属」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。
※　「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。
※　「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。
※　プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。

＊研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者
＊臨床研修指導医（指導医）・・・研修医に対する指導を行う医師であり、７年（８４月）以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者
※　地域医療重点プログラムにおいては、地域医療の指導医を必ず記載すること
※　欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.　)」欄にページ数を記入すること。

３１．臨床研修指導医（指導医）等の氏名等　　病院施設番号：032148　　臨床研修病院の名称：国保水俣市立総合医療センター

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 １　プログラム責任者 ２　副プログラム責任者 ３ 研修実施責任者 ４ 臨床研修指導医（指導医）
外科	志垣　博信	国保水俣市立総合医療センター	外科部長	17 年	○	日本外科学会専門医、日本消化器外科学会専門医、がん治療認定医、消化器がん外科治療認定医、第 15 回熊本大学医学部附属病院群臨床研修指導医研修ワークショップ受講済	032148104	４（032148104）
放射線科	楠　真一郎	国保水俣市立総合医療センター	副院長	22 年	○	日本医学放射線学会専門医、第 16 回熊本大学医学部附属病院群臨床研修指導医研修ワークショップ受講済	032148104	４（032148104）

※　「担当分野」欄には、様式 10 別紙３の臨床研修を行う分野及び病理（ＣＰＣ）を記入すること。
※　「所属」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。
※　「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。
※　「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。
※　プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。
＊研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者
＊臨床研修指導医（指導医）・・・研修医に対する指導を行う医師であり、７年（８４月）以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者
※　地域医療重点プログラムにおいては、地域医療の指導医を必ず記載すること
※　欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.　)」欄にページ数を記入すること。

３１．臨床研修指導医（指導医）等の氏名等　　病院施設番号：032148　　臨床研修病院の名称：国保水俣市立総合医療センター

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 １　プログラム責任者 ２　副プログラム責任者 ３ 研修実施責任者 ４ 臨床研修指導医（指導医）
麻酔科	馬場　知子	国保水俣市立総合医療センター	麻酔科医師	38 年	○	日本麻酔科学会麻酔専門医・指導医、第 10 回熊本大学医学部附属病院群臨床研修指導医研修ワークショップ受講済	032148104	４（032148104）
産婦人科	松井　幹夫	国保水俣市立総合医療センター	産婦人科部長	36 年	○	日本産婦人科学会産婦人科専門医・指導医、第 8 回熊本大学医学部附属病院群臨床研修指導医研修ワークショップ受講済	032148104	４（032148104）

※　「担当分野」欄には、様式 10 別紙３の臨床研修を行う分野及び病理（ＣＰＣ）を記入すること。
※　「所属」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。
※　「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。
※　「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。
※　プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。
＊研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者
＊臨床研修指導医（指導医）・・・研修医に対する指導を行う医師であり、７年（８４月）以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者
※　地域医療重点プログラムにおいては、地域医療の指導医を必ず記載すること
※　欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.　)」欄にページ数を記入すること。

３１．臨床研修指導医（指導医）等の氏名等　　病院施設番号：032148　　臨床研修病院の名称：国保水俣市立総合医療センター

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1　プログラム責任者 2　副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
小児科	黒澤　孝一	国保水俣市立総合医療センター	小児科部長	26 年	○	第 14 回熊本大学医学部附属病院群臨床研修指導医研修ワークショップ受講済	032148104	４（032148104）
整形外科	宮崎　信	国保水俣市立総合医療センター	診療部長	24 年	○	日本整形外科学会専門医、第 18 回熊本大学医学部附属病院群臨床研修指導医研修ワークショップ受講済	032148104	４（032148104）

※　「担当分野」欄には、様式 10 別紙３の臨床研修を行う分野及び病理（ＣＰＣ）を記入すること。
※　「所属」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。
※　「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。
※　「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。
※　プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。

＊研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者
＊臨床研修指導医（指導医）・・・研修医に対する指導を行う医師であり、７年（８４月）以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者
※　地域医療重点プログラムにおいては、地域医療の指導医を必ず記載すること
※　欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.　)」欄にページ数を記入すること。

３１．臨床研修指導医（指導医）等の氏名等　　病院施設番号：032148　　臨床研修病院の名称：国保水俣市立総合医療センター

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1　プログラム責任者 2　副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
泌尿器科	岩下　仁	国保水俣市立総合医療センター	泌尿器科部長	24 年	○	日本泌尿器科学会専門医・指導医、第 124 回臨床研修指導医養成講習会受講済	032148104	４（032148104）
皮膚科	谷川　広紀	国保水俣市立総合医療センター	皮膚科部長	14 年	○	第 18 回熊本大学医学部附属病院群臨床研修指導医研修ワークショップ受講済	032148104	４（032148104）
脳神経内科	井　建一朗	国保水俣市立総合医療センター	脳神経内科部長	11 年	○	日本神経学会神経内科専門医、日本脳卒中学会専門医、日本内科学会認定内科医、第 20 回熊本大学病院群臨床研修指導医研修ワークショップ受講済	032148104	４（032148104）

※　「担当分野」欄には、様式 10 別紙３の臨床研修を行う分野及び病理（ＣＰＣ）を記入すること。
※　「所属」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。
※　「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。
※　「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。
※　プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。

＊研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者
＊臨床研修指導医（指導医）・・・研修医に対する指導を行う医師であり、７年（８４月）以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者
※　地域医療重点プログラムにおいては、地域医療の指導医を必ず記載すること
※　欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.　)」欄にページ数を記入すること。

３１．臨床研修指導医（指導医）等の氏名等　　病院施設番号：032148　　臨床研修病院の名称：国保水俣市立総合医療センター

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1　プログラム責任者 2　副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
循環器内科	上村　智明	国保水俣市立総合医療センター	循環器内科部長	12 年	○	日本内科医学会認定内科医、日本循環器学会専門医 第 19 回熊本大学病院群臨床研修指導医研修ワークショップ	032148104	４（032148104）
消化器内科	立山　雅邦	国保水俣市立総合医療センター	消化器センター長	23 年	○	日本内科学会総合内科専門医、日本肝臓学会専門医・指導医、日本消化器病学会専門医・指導医、日本消化器内視鏡学会専門医・指導医、日本超音波医学会専門医、 第 20 回熊本大学病院群指導医研修ワークショップ	032148104	４（032148104）

※　「担当分野」欄には、様式 10 別紙３の臨床研修を行う分野及び病理（ＣＰＣ）を記入すること。
※　「所属」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。
※　「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。
※　「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。
※　プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。

＊研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者
＊臨床研修指導医（指導医）・・・研修医に対する指導を行う医師であり、７年（８４月）以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者
※　地域医療重点プログラムにおいては、地域医療の指導医を必ず記載すること
※　欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.　)」欄にページ数を記入すること。

３１．臨床研修指導医（指導医）等の氏名等　　病院施設番号：032148　　臨床研修病院の名称：国保水俣市立総合医療センター

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 １　プログラム責任者 ２　副プログラム責任者 ３ 研修実施責任者 ４ 臨床研修指導医（指導医）
病理診断科	猪山　賢一	独立行政法人地域医療機能推進機構熊本総合病院	部長	48 年	○	熊本大学医学部附属病院群臨床研修指導医研修ワークショップ	032148104	４（032148104）
地域医療（在宅医療）	森　健一郎	竹本医院	院長	49 年	×		032148104	上級医（032148104）

※　「担当分野」欄には、様式 10 別紙３の臨床研修を行う分野及び病理（ＣＰＣ）を記入すること。
※　「所属」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。
※　「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。
※　「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。
※　プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。

＊研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者
＊臨床研修指導医（指導医）・・・研修医に対する指導を行う医師であり、７年（８４月）以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者
※　地域医療重点プログラムにおいては、地域医療の指導医を必ず記載すること
※　欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.　)」欄にページ数を記入すること。

別紙

臨床研修病院群の想定時間外・休日労働時間の記載

基幹型臨床研修病院の名称（所在都道府県）：国保水俣市立総合医療センター　　（ 熊本県 ）

研修プログラムの名称：国保水俣市立総合医療センター群卒後臨床研修プログラム

病院名	病院施設番号	種別	所在都道府県	時間外・休日労働（年単位換算）最大想定時間数	おおよその当直・日直回数 ※宿日直許可が取れている場合はその旨を記載	参考 時間外・休日労働（年単位換算）前年度実績	C-1水準適用
国保水俣市立総合医療センター	32148	基幹型	熊本県	960時間	月1・2回　宿日直許可なし	約400時間 対象となる臨床研修医3名（2022年度）	
熊本大学病院	30729	協力型	熊本県	720時間	臨床研修医の当直・日直なし	209時間 対象となる臨床研修医18名（2022年度）	
国立病院機構熊本医療センター	30726	協力型	熊本県	800時間	月3･4回	約800時間 対象となる臨床研修医19名（2022年度）	

※　該当する項目について、基幹型臨床研修病院を筆頭にして、協力型臨床研修病院については施設番号順に詰めて記入すること。

※　病院群を構成する基幹型臨床研修病院及びすべての協力型臨床研修病院の病院施設番号、病院種別（基幹型・協力型）、所在都道府県、時間外・休日労働（年単位換算）の最大想定時間数、おおよその当直・日直回数（宿日直許可が取れている場合はその旨）、前年度の時間外休日労働の年単位換算実績及び、Ｃ－１水準適用の状況を記入すること。

※　想定時間数は、プログラムに従事する臨床研修医が、該当する研修病院において実際に従事することが見込まれる時間数について、前年度実績も踏まえ、実態と乖離することのないよう、適切に記入すること。

※　臨床研修医においては、従事するすべての業務が研修プログラムに基づくものとなるため、Ａ水準またはＣ－１水準しか適用されない。